

授業科目名	観光メディア論	担当教員	寺田 憲弘
必修の区分	選択		
単位数	2単位		
授業の方法	講義		
開講年次	3年第1クォーター		
講義内容	<p>観光は媒介 (mediate) された情報をもとに旅行に行く行為です。また、観光を通して何らかの情報を受けとります。つまり、観光は、情報を媒介する存在 (media) がないと存在しませんし、観光自体が情報を伝えるメディアとしても機能しています。本講義は、そのような観光の性質に注目し、初期近代の観光から後期近代である現在の観光までを実例をもとに考える講義です。</p>		
到達目標	<p>本講義の到達目標は以下の3点です。</p> <p>① 観光とメディアの関係性およびその歴史について理解すること</p> <p>② 観光とメディアの関わりについて事例を分析、考察できるようになること</p> <p>③ その結果を文章で表現できるようになること</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 観光とメディア、コンテンツの関係性 2. 観光と1. 近代社会とメディア 2. マスメディアの特徴 3. 巡礼から観光へ(1)巡礼とは何か 4. 巡礼から観光へ(2)近代化と初期観光 5. 文化財制度と観光(1)国立公園と観光 6. 文化財制度と観光(2)世界遺産と観光 7. 消費社会と観光(1)マスツーリズムの変容 8. 消費社会と観光(2)観光の多様化 9. 情報化社会と観光(1)インターネットと観光情報 10. 情報化社会と観光(2)聖地巡礼とSNS 11. 情報化社会と観光(3)着地型観光とインターネット 12. まとめ 		
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・講義毎に講義内容に沿った課題を出します。 ・最終レポートでは、講義内容を踏まえた上で、自分の関心領域についてのレポートを書いてもらいます。それにつながる復習をして下さい。 		
テキスト	各回に授業資料を配付します。		
参考文献	『観光メディア論』遠藤英樹・寺岡伸悟・堀野正人【ナカニシヤ出版】 『旅行ノススメ』白幡洋三郎【中央公論新社】		
成績評価の基準	<ul style="list-style-type: none"> ・各回の授業内で出題する課題 (50%) ・最終レポート課題 (50%) 		
履修上の注意 履修要件	・「観光社会学」と合わせて履修すると、より理解が深まる		
実践的教育	該当しない。		
備考欄	履修者が定員を超過した場合、抽選を行う。		